

24. 言語症状が前景に出た Cerebellar cognitive affective syndrome の一例

松江市立病院リハビリテーション科¹

○福永 典子¹，徳田 佳生¹

【はじめに】

従来，小脳の主たる機能は運動の調節や制御と考えられてきた。しかし，1980年代半ば頃より小脳と高次脳機能の関係が注目され，その後も小脳病変において，運動障害だけでなく，遂行機能や注意障害，言語障害，空間認知や記憶の障害，性格および行動変化などの症状がみられるという報告がなされている。今回，我々は小脳出血後の運動障害に加え，言語症状を主とした高次脳機能障害を示した症例を経験したので報告する。

【症例】

74歳，男性。右利き。妻・息子夫婦・孫と同居。歩行・ADLに問題なく，保育所経営や土地開発事業などに携わっていた。H22.8.9朝からめまいが出現し当院救急搬送。CTにて右小脳に小出血を認め，脳神経外科入院となった。保存的加療施行され，翌日リハビリテーション依頼にて当科対診となった。初診時所見：ややぼーっとしているものの，従命可能でコミュニケーション問題なし。発話明瞭度1。明らかな四肢運動失調認めず。自力での起き上がり，立ち上がりも可能だが軽い目眩・気分不良あり。歩行時のふらつき著明なため，理学療法開始となった。入院後経過：入院10日目頃，本人より「日記の記載内容がおかしい」と訴えあり，認知機能障害について検討するために，神経心理学的検査を施行した。検査結果を表に示す。日常生活場面では，コミュニケーション上問題を認めなかったが，日記を書く際の錯書があり，標準失語症検査では，聴覚的理解不良

と錯書がみられた。WAIS-IIIにおいて言語性IQと動作性IQの乖離を認めた。群指数では言語理解，作動記憶，処理速度が不良であった。リバーミード行動記憶検査は正常域であったが，ウェクスラー記憶検査および三宅式記名力検査では言語性記憶の低下を認めた。Trail Making TestではPart Bで遅延を示し，Behavioural Assessment of the Dysexecutive Syndrome (BADS)の結果から，遂行機能障害も疑われた。

画像検査：入院時MRIでは右歯状核内側に小出血あり，第4脳室に穿破を認めた。

発症1ヶ月後の脳血流シンチでは左前頭葉，左頭頂後頭葉に軽度血流低下を認めた。理学療法で体幹失調改善し，独歩安定となった。作業療法・言語療法では書字・コミュニケーション・記憶等の機能訓練を行った。

【考察】

小脳障害で起こりうる認知症状として，遂行機能障害・言語障害・空間性障害・人格障害があり，1998年，Schmahmannらによりcerebellar cognitive affective syndrome（以下CCAS）という新たな概念が提唱された¹⁾。その後の報告でも，遂行機能障害や注意障害，人格変化などの症状は比較的多く散見されるが，言語症状が主の報告は少ない^{2) 3)}。また，小脳の障害部位と症状の関連性について，これまで，認知・行動障害は小脳後方領域の損傷でより強く，感情障害は虫部と関連があると報告されているが，本症例では，小脳歯状核内側の小出血で言語理解力低下，錯書などの言語障害と遂行機能障害・記名力低

下など高次脳機能障害を認めた。さらに、この記銘力低下・遂行機能障害には、言語理解力の低下も関与していると考えられた。本症例は現在もリハビリテーション継続中であり、今後の経過とともに文献的考察を加え報告したい。

表 神経心理学的検査（発症2週～1ヶ月）

HDS-R	24/30
	逆唱・野菜想起で失点
SLTA	口頭命令に従う、文の復唱、仮名・単語の書字、まんがの説明、仮名・単語の書取で-1 SD 以下
WAIS-III	言語性 IQ 78 動作性 IQ 94 全 IQ 84
	言語理解 88 知覚統合 108
	作動記憶 83 処理速度 86
コース立方体テスト	IQ 82.5
WMS-R	言語性記憶 72 視覚性記憶 89
	一般的記憶 76 注意/集中力 77
	遅延再生 85
RBMT	標準プロフィール 22/24
三宅式記銘力検査	
	有関係対語 5-9-9
	無関係対語 0-0-1
Trail Making Test	PartA 87 秒
	PartB 322 秒
BADS	総プロフィール 12/24
	年齢補正した標準化得点 79 (境界域)
KWCST	CA:5 PEN:5 DMS:1
FAB	15/18

HDS-R：長谷川式簡易痴呆スケール

SLTA：標準失語症検査

WAIS-III：ウェクスラー成人知能検査III

WMS-R：ウェクスラー記憶検査

RBMT：リバーミード行動記憶検査

BADS：Behavioural Assessment of the Dysexecutive Syndrome

KWCST：慶応版 Wisconsin Card Sorting Test

CA:達成カテゴリー数

PEN:ネルソン型保続数

DMS:セット維持困難

FAB: Frontal Assessment Battery

【文献】

- 1)Schmann JD, Sherman JC: The cerebellar cognitive affective syndrome. *Brain* 121:561-579, 1998
- 2)大沢愛子, 前島伸一郎: 小脳を中心としたテント下病変の高次脳機能. *高次脳機能研究* 28:192-205, 2008
- 3)田中一成, 山崎英智, 佐藤友治, 佐藤理恵, 神代尚芳, 山口淳: 小脳出血により生じた cerebellar cognitive affective syndrome の一症例. *総合リハ* 34:793-796, 2006